

〈論文〉

# “帮”を用いた文の ポライトネス性について<sup>(1)</sup>

永 江 貴 子

## 要 旨

中国語の“给”は受益者を導くと規定され、この“给”に関する先行研究が多数報告されてきた。近年、この“给”が用いられる受益者を導く位置で、“帮”を用いる例が散見される。この“帮”の振る舞いを注視すると、従来の「助ける」という意味からやや離れた例が散見される。

本稿では、この“帮”が有する意味的特徴に着目し、ポライトネスを示す例、近年におけるこの例の拡がり、更に従来の意味からやや逸脱した例を提示し、ポライトネスを意図する場面で何故多く観察されるのかに関し、そのメカニズムを述べる。

キーワード：ポライトネス、文法化、要求表現

## 1. “帮”を用いた文のポライトネス性

次の(1)の例のように、学生が先生に要求する際、“给”を用いたa文は失礼に聞こえるため、“帮”を用いたb文の方が好ましい。

(1) ??a. 老师，麻烦您，给我打开窗户好吗？

b. 老师，麻烦您，帮我打开窗户好吗？

(先生，すみませんが，窓を開けてくれますか？)

そこで、要求表現<sup>(2)</sup>における“帮我”と“给我”についてその使用状況を調査した結果，“给我”を用いた場合は失礼さを感じさせるため、先生や年上の人など、いわゆる目上の人には“给我”を用いず，“帮我”を用いて依頼することがわかった。そこから，“帮我”は要求表現における一種のポライトネスマーカーになっているのではないかと述べた<sup>(3)</sup>。

言語表現におけるポライトネスに関し、Brown & Levinson 1987 によると、face (フェイス) を維持することで適切なコミュニケーションが成立するという。この face (フェイス) 維持のため、ポライトネスが表現・伝達される手段をポライトネス・ストラテジー (方略) と呼ぶ<sup>(4)</sup>。その他に、Leech 1983 では politeness principle (丁寧さの原則) を挙げている<sup>(5)</sup>。以上を踏まえ，“帮我”はポライトネス・ストラテジーとして、要求表現において用いられていると考えられる。

では、なぜ要求表現において“帮”を用いた場合はポライトネスに配慮した表現となり、“给”を用いた場合は失礼さが付与されるのか。“帮”と“给”の意味的特性から述べていく。

## 2. “给”を用いた文の一義性と“帮”を用いた文の不確定性

動詞としての“帮”<sup>(6)</sup>は《现代汉语词典 第七版》によると，“帮助”（助ける）及び“指从事雇佣劳动”（賃金労働に従事する）、《现代汉语八百词增订本》では“帮助”（助ける）及び“赠送，补助”（送る，補助する）と記述されている。

この“帮”の意味について中川 1991 では、「当事者がなすべきことの一部を肩代わりし、その肩代わりした部分については全面的に責任を持って

する」というニュアンスの強い語で、「前後の状況、とりわけ後続の述語動詞によってはちょっと手を貸すといった軽い手伝い方を意味する場合もある」と述べ、以下の(1)(2)(3)を示す。

- (2) 许多家长晚上帮孩子默字，背课文。→ちょっと手を貸す  
(多くの父兄は夜、子供が字を覚えたり、テキストを暗誦したりするのを手伝う。)
- (3) 请你帮我抬一下箱子。→半分だけ手伝う  
(箱を運ぶのを手伝って下さい。)
- (4) 我的被子晒在楼下，下午要是回来晚了，请帮我收一下好吗？  
→かわりにする  
(わたしのふとん、階下にほしてありますが、午後帰りが遅くなりましたら、しまっておいてくれませんか)

この“帮”を用いた文の意味に関する不確定さについて刑欣 2004：59-60 でも指摘されている。それは“帮”を用いた文は、兼語式の文でも‘这类动词句型中存在着指代上的随意性，还会造成歧义结构’（これらの動詞の文型では指示上の随意性が存在し、意味的に曖昧な構造を形成する）と述べている。例えば“(我)帮你复习。”という文は「あなたが復習した」とも「私とあなたが一緒に復習した」とも解釈ができる。更に“你帮我改了多少篇稿子……”という文は兼語式の解釈に加えて連動式の解釈も可能なため、「私が何本もの原稿を修正した」や「あなたと私が一緒に何本もの原稿を修正した」といった兼語式の解釈に加えて「あなたが何本もの原稿を修正した」という連動式の解釈もできる、という。

次の(5)(6)は“帮”と置き換え可能な“给”<sup>(7)</sup>を用いた文である。“帮”を用いた文が上述の通り複数解釈が可能である一方、この“帮”と置き換え可能な“给”を用いた文は一義的である<sup>(8)</sup>。

- (5) a. 小红给小王梳头发。

(シャオホンが王君のために髪を梳かしてやった)

- b. 小红帮小王梳头发。

(シャオホンは王君のために髪をちょっと梳かしてやった /  
シャオホンは王君を助けて髪を代わりに全て梳かしてやった)

- (6) a. 妈给他开门。(母は彼にドアを開けてやった)

- b. 妈帮他开门。

(母は彼のためにドアを開けてやった /  
母は彼を助けて代わりにドアを開けてやった)

この“帮”を用いた文が多義に解釈できるがゆえ，“帮”を用いた文はポライトネスに配慮した表現になり得るのではないか。前掲の(1)を参照されたい。

- (1) ??a. 老师，麻烦您，给我打开窗户好吗？

- b. 老师，麻烦您，帮我打开窗户好吗？

(1) a の“给”を用いた文は、先生に対し「ドアを開けて下さい」とだけ依頼しているのに対し、(1) b の“帮”を用いた文<sup>(9)</sup>は「ドアを開けるのに助けて欲しい」という意味で、その助け方が「ドアを開けるのにちょっと力が欲しい」、「ドアを開けるのに自分の代わりに力を出して欲しい」であるのか、複数の意味が想定される。聞き手にとっては、複数解釈ができる“帮”を用いた文の方が、その動作を少しだけするのか、代わりに全面的に行うのか動きの幅を選択できる。

なお、Brown & Levinson 1987 では、言語の現れるポライトネス・ストラテジーの1つとして、“Be vague or ambiguous” (曖昧にまたは多義的に言え) を挙げている。「技術的には間接性を用いたこと」により、H (聞き手) の「フェイスに敬意を払ったことになり、それゆえ FTA の脅

威を最小化したことになるだろう」と述べられている<sup>(10)</sup>。複数解釈ができる“帮”を用いた文は、「曖昧」かつ「多義的」に言うポライトネス・ストラテジーに当てはまる文であるがゆえ、この“帮”を用いると“给”を用いた場合に比較して、ポライトネスに配慮した言語表現になり得ると考えられる。

### 3. “帮”を用いた文の拡がり

近年、中国大陸において従来と異なる用法の“帮”を用いた文が観察される。2013年から2017年に中国大陸で放送されたテレビドラマ<sup>(11)</sup>から用例を抽出し、その拡がりをポライトネス・ストラテジーに起因するものという視点から、考察する。

#### 3-1. 要件を問う際に用いる“帮”

客が来店や来訪した際、店員あるいは職員は“欢迎光临”（いらっしゃいませ／ようこそ）に続け、その客の要件を尋ねる。

（7） 欢迎光临肯德基，请问需要点什么？（BCC）

（いらっしゃいませ。ケンタッキーへ。何をご注文されますか。）

（8） 你好，欢迎光临建行。请问办什么业务？（BCC）

（こんにちは。ようこそ中国建設銀行へ。どのようなお手続きをされますか）

（7）は「ケンタッキー」というお店に来店した客に対し注文内容（“需要点什么”）を、（8）は「中国建設銀行」にきた顧客に手続き内容（“办什么业务”）を問うている。

来店した客に対し、次の（9）のような“帮”を用いた例が観察される。

(9) 欢迎光临, 有什么要帮您的吗? 《我的前半生 17》

(いらっしゃいませ。何かお手伝いする必要がありますか)

(9) の例はデパートの衣料品店に来店した店員が客に用件を尋ねた例である。“帮”を用いることで店員が客に「何が欲しいか」と要件を直接聞くのではなく、「(何か必要なものを得るために) 何の助けができるか」という一段置いた表現で尋ねている。例えば, 「ウインドーショッピングをしており, 興味があったら購入しよう」という, 必ずしも購入を目的としていない客にとっては, 「どのような洋服が欲しいか」と問われた場合「不要です」と店を立ち去る可能性が高い。その一方, (9) のように“有什么要帮您的吗?” ならば, 「このスカートに合わせるシャツを探していて, 「通勤にさえそうな靴がないかと思って」等と複数の回答ができ, 更にその客の好みに合うものが見つかれば, 商品の購入にもつながる。

(10) は電話でデパートの外商部門に電話した客と店員のやり取りである。店員(A) が客(B) に(1)と同様に“帮”を用いた文で客に用件を問う, 客が“帮”を用いて自分の要件を依頼している。

(10) A: 喂, 您好!VIP(贵宾)导购。请问, 有什么可以帮您的?

(もしもし, こんにちは。外商です。恐れ入りますが, 何かお手伝いできることございますか)

B: 帮我送一套正装上来。尽快。《繁星四月 08》

(私に正装を一着持ってきて下さい。なるべく早く)

(10) A でも“要什么?”(何が欲しい)ではなく, “帮”を用いた「何の助けができるか」と聞く。“要什么?”は「何が欲しいか」, 即ち欲しいものを答えなければならないという答えの選択肢が限られているが, “帮”を用いた「何の助けができるか」という問いには, 「赤い色のコートを探

している」や「大切な顧客に合うような服を探しているのだけど」など、様々な答えが想定できる。

以上挙げたようにある職業に従事している者が，“帮”を用いて客に用件を問う例は，回答者が多様な答えを出せる複数解釈が可能であるポライトネスに配慮した表現であり，会話を進めることで客の購入にもつながる利便性の高い語であるゆえ，観察されるようになったと推測される<sup>(12)</sup>。

### 3-2. 話し手の品格保持としての“帮”を用いた表現

永江 2005 や永江 2018 では，電話交換台に「国際電話をつないでもらえないか」と要求する場合，“帮我”，“给我”，“×”のどれを選ぶかという(11)のような調査を実施した<sup>(13)</sup>。

- (11) 喂，你好。麻烦你，(a. 帮我 / b. 给我 / c. ×) 开一下国际长途。  
(もしもし，こんにちは。すみませんが，国際電話をつないでもらえませんか)

この調査の結果，電話交換台に要求する文において，“帮我”選択者は北京 20 歳前後 28 人 (56%)，北京 50 歳前後 23 人 (46%) というように 50%前後に留まり，“给我”の選択は，北京 20 歳前後 18 人 (36%)，北京 50 歳前後 18 人 (36%) のように“给我”を選択する割合も“帮我”を選択する割合と同じぐらいだとわかる。なお，この項目について“给我”を選択した大陸の被験者に理由を聞いたところ「要求される相手はそれを職業としているのだから，わざわざ“帮我”を用いて丁寧に話さなくても良い」と回答し，“帮我”を選択した被験者に理由を尋ねたところ「要求される相手はそれを職業にしているけれども，見知らぬ相手に要求するため“帮我”を用いて丁寧に要求した方が良い」との回答を得た。なお，当時調査したコーパスでは，上記の(11)のような場面では“给我”を用いて

依頼がされていた。

今回、ある仕事に従事する人に、その仕事内容を要求する文において、“給”ではなく“帮”を用いる例が、永江 2005 や永江 2018 で調査した当時と比較し、多数抽出できた。次の (12), (13), (14) を参照されたい。

- (12) A：喂，您好！VIP（贵宾）导购。请问，有什么可以帮您的？  
（もしもし、こんにちは。外商です。恐れ入りますが、何かお手伝いできることございますか）  
B：帮我送一套正装上来。尽快。《繁星四月 08》  
（私に正装を一着持ってきて下さい。なるべく早く）
- (13) 喂，帮我订一张明天去西安的机票。明天上午的，越早越好。  
（もしもし、私のために明日の西安行きの航空券を一枚予約して下さい。明日午前のを、早ければ早いほど良い）《敢爱 26》
- (14) 剩下那些我也都要了，但是麻烦你帮我做熟了，我带走。  
（残ったのも全部私に下さい。ただ面倒をかけるが調理してくれない。持ち帰るよ）《我的前半生 01》

以上、(12) B は顧客が店員へ要求、(13) は航空券の予約のためにその仕事に従事する人への電話、(14) は客がレストランで料理人への要求であるが、“帮”を用いて依頼する場面が散見される。3 章 1 節ではある職業に従事している者が客へ要件を問う際、“帮”を用いて尋ねることで客の購入につながる利便性が高い語であるがゆえ、“帮”が用いられると述べた。上記の (12) (13) (14) で挙げた客が店員やスタッフ、即ちその職業に従事した者へ“帮”を用いて依頼する例は、回答する側が複数の回答を用意できるポライトネスに配慮した表現と考えられるが、それだけでは永江 2005 や永江 2018 で調査した当時と比較し、多数抽出できた理由とはならない。この中国語において近年「ポライトネスに配慮した表現」が増え



た事例について、中国語学では管見の限りあまり論じられてきていない。そこで、本稿では日本語の敬語史研究を取り上げながら、考察する。

辻村 1956 では、当時の敬語について、「敬語の中に自己の品格を保つために用いられている」という例が「割合に多い」とし、特に「敬語の使えないような無教養な人はともかく、少なくともその使い分けのできるような知識階級にはこの種のものが決してすくなくありません」(p. 213) と指摘し、敬語について「尊敬とか謙譲とかいうようなものとはおよそ縁遠い場合が多く、むしろ、それは社交の間、人と人との間を融和させる一種の潤滑剤として用いられるものと言うべき」(p. 216) と指摘し、素材を美化する語を美化語と称する。この美化語について、宮地 1965 では「いわゆる“品位保持”“ことばづかいの丁寧さ・上品さ”などの配慮によるものと思われる」とし、更に「話手は、自分自身の言語行動を内的に品よく（少なくとも品のわるい感じを生まないように）保とうとする気持ちで言う」と解釈されるもので、「聞手とも関係するけれども、中心は、話手自身に対する配慮、みずからのことばづかいに対する配慮による」(p. 204) と指摘する。これを受けた辻村 1967 では、宮地 1965 の「美化語」の規定は氏の規定と通じると述べている。

今回、(12) から (14) のドラマのコーパスで“幫”を用いて要求する人物は、いずれも CEO や経理（社長・チーフ）など社会的地位の高い人物であった。このような人物が“幫”を用いて要求するのは、相手に対する敬意というよりは、話し手の気品保持や上品であることを示すためではないか。つまり、“給”を用いることで聞き手に一方的に命じられていると感じさせるのではなく、“幫”の使用により聞き手にとっては複数解釈でき、動作をその中から随意に選択可能でもある。こういった性質を有する“幫”を用いることは、ポライトネスに配慮した表現を使用できることにつながり、その話し手の品格保持を示すと考えられる。

### 3-3. “帮”の機能語化的用法

次の(15)は、デパートの靴の売り場に冷やかしに来た客(A)が店員(B)に、うまく靴を一足買わされてしまう場面である。

(15) A：其实价钱真的无所谓的，只是我比较喜欢这一双。

(実は値段は本当にどちらでもいい。単にどちらかといえ  
ばこれが好きなだけ)

B：对，我也觉得这双比较适合你，跟你整体搭配都特别协调。  
来，那我帮你包起来了。

(その通り。私もこっちの方が比較的合っていると思うわ。  
全体的な組み合わせが凄くバランスが取れている。さあ、  
あなたのために包むわ)

A：嗯…

(ええ…)

B：这双不要了是吧？

(こっちの靴はいらないのね)

A：不要了。

(要らないわ)

B：我给你讲有时候贵呢，未必是好的。要合适自己的才行。对  
吧。那我帮你刷卡。

等等啊。

(言っておきたいのだけど、時々高いものは、決して良い  
とは限らないの。自分に合うものこそいいの。そうでしょ  
う？ じゃあ、あなたのためにカードを切ってくるわ。  
ちょっと待っててね)《我的前半生 17》

この(15)の“我帮你包起来了”と“我帮你刷卡”における“帮”は客(A)が本来すべき動作を店員(B)肩代わりして行うわけではない。店員が“包起来”((靴を)包む)と“刷卡”(カードを切る)という、客への助力のために動作を行うと述べているにすぎない。

また、筆者も北京訪問時<sup>(14)</sup>に、レストランで食べ残した皿を見た従業員に(16)のように話しかけられた。

(16) 我帮你收拾一下吧。(あなたのために、片付けましょうか)

“收拾”(片付ける)という動作は、本来従業員がすべき動作である。この“帮”を用いることで、「片付けることで、あなたのためになる」といった、一種のポライトネス・ストラテジーだと考えられる。

更に(17)は、カフェにおいて店員(A)に対し、客(B)がコーヒーを注文する場面である。

(17) A: 欢迎光临。

(いらっしゃいませ)

B: 小姐, 麻烦, 帮我做杯咖啡<sup>(15)</sup>。

(すみません, お手数ですが, コーヒーを一杯淹れて下さい)

この(17)の“帮我做杯咖啡”((私のために) コーヒーを淹れて下さい)において、“做杯咖啡”(コーヒーを淹れる)は本来、客(B)がすべき動作というわけではない。店員(A)の仕事であり、その仕事内容を客(B)が要求しているという場面である。ここで用いられた“帮”はもはや「助ける」という動作義が薄れ、日本語に訳すと「ために」という意味が対応すると考えられる。

なお、動詞から受益者を導く語への文法化として、木村 2005 において

“給”の文法化について論じられており、[授与動詞→授与目標マーカー→受益者マーカー]という拡張過程を設定している。また、蘇州及びその周辺に分布する北部呉語における18世紀から20世紀初頭の[“辣”→“拔辣”→“拔”]への変遷について論じた三木2002によると、“拔”は19世紀以降、“辣”と異なり、動詞本来の意味により「事物を受領者に与える」から「利益を受領者に与える」という機能となり、授与動詞以外の動詞と組合せて「…の為に～してあげる」の意味を表すことができるようになったと述べている。動詞から「～のために…する」という受益者を導く語への文法化プロセスは、以上のように先行研究で指摘されている現象である<sup>(16)</sup>。

本節で取り上げた“幫”は「助ける」という実質的な動作義はやや薄れているが、ある動作をすることで相手の「助けになる」という意味が残り、その結果「～のために…する」という機能語化的な用法で多用されてきているのではないだろうかと予測される<sup>(17)</sup>。

なお、永江2005、永江2018では有名人にファンがサインを頼む場面で、“幫我簽名嗎?”と要求する例を挙げながら、台湾で普く標準語として用いられている台湾華語において“幫”(“帮”)が文法化していると述べた。一方で、調査当時、扱ったコーパスでも中国大陆における調査でも(15)、(16)、(17)のような例には触れることが皆無に等しく、普通話における“幫”の文法化までは言及できなかった。ただ近年では上述のような例が散見される。この「サインを求める」場面ということで、北京語言大学の中国語コーパス<sup>(18)</sup>で“幫”と“签”が共起した例について検索してみると、“文学”(文学)や“报刊”(新聞・雑誌)では用例が0であったが、“多領域”(複合領域)では144例、“微博”(中国語版 Twitter)では101例あった。“文学”(文学)や“报刊”(新聞・雑誌)で用例が皆無であった。いわゆる“书面語”(書き言葉)で用例が皆無ということは一般的に認められた用法ではないが、“多領域”(複合領域)や“微博”(中国語版

Twitter）で用例が観察されるということは，“口語”（話し言葉）では“帮”の機能語化的な用法が見られるようになってきている<sup>(19)</sup>。

#### 4. まとめと考察

本稿で述べた内容は次の表1のようにまとめられる。

表1 “帮”を用いた文のポライトネス性

1	“帮”を用いたポライトネスに配慮した表現の提示
2	“帮”を用いることによる、話し手の品格保持
3	“帮”を用いた機能語法的用法

以上，中国語ではポライトネスに配慮した“帮”を用いた表現が多用されている例を取り上げ，考察した。本稿の考察により，中国語教育の場面で“给”を用いた依頼を教授した結果，失礼な印象を相手に与えてしまう中国語学習者に向けて，“帮”を用いた方が良いと提出したい。

本稿では“帮”をポライトネス性という視点から論じたが，中国語の依頼表現で丁寧さを示す語として多用される“能”や“请”との関わりや“帮”の文文化か文型における副産物などについて，考察が不十分であった。今後の課題とする。

#### 《注》

- (1) 本稿は，2018年日本中国語学会関東支部第2回例会・お茶の水女子大学中国文学会12月例会（2018年12月8日，お茶の水女子大学）において発表した内容に加筆修正したものである。
- (2) 要求表現とは，中国語の“祈使句”を日本語に翻訳したものである。袁1993によると“祈使句的作用主要是要求听话人做或不做某事”（要求表現の作用は主に聞き手に対してあることをするようまたはしないように要求すること）であり，“祈使句可以表示命令，建议，请求，及与之相对的禁止，

劝阻, 乞免”(要求表現は命令, 建議, 依頼, 及びこれに相對する禁止, 忠告, 希求を表せる)をいう。この中国語の要求表現について, 林 1982 では中国語の「命令・依頼表現」, 大西 1988 では中国語の「要求表現」, 浜田 1995 では中国語の「命令依頼」と呼ぶ。本論では“帮”と“给”を用いた「依頼」「命令」も含めた「話し手が相手に要求する表現」を扱うため, 要求表現という用語を用いた。

- (3) 永江 2005, 永江 2018。
- (4) 相手の face を脅かす行為は FTA (face threatening act) と呼ぶ。言語行為における FTA の回避は難しく, ポライトネスは FTA に対する言語的な配慮, 即ち言語活動によりその度合いを軽減させる役割がある。
- (5) 語用論的視点から「丁寧さの原則」を述べているが, 「丁寧さの原則」中に「気配りの原則」と「寛大性の原則」の原則がある。「気配りの原則」というのは「(a) 他者に対する負担を最小限にせよ」「(b) 他者に対する利益を最大限にせよ」というもので, 「寛大性の原則」というのは「(a) 自己に対する利益を最小限にせよ」「(b) 自己に対する負担を最大限にせよ」というものである。
- (6) 《現代汉语词典 第七版》及び《現代汉语八百词 増訂本》の日本語訳は発表者による。
- (7) “帮”は「助ける」を意味する語で, “X 帮 YVP”という文は「X は Y を助けて～する」「X は Y のために～する」という意味の文なので, この文における“Y”は助けられる対象であるため, 動作の受取り手でも被害を被る対象ではなく, 利益を受ける対象, 即ち受益者と想定できるからである。認知論的観点から“给”の文法化を述べた Newman 1993 で言う mainly BENEFACTIVE の“给”(受益者を導く“给”), 木村 2005 で述べる受益者マーカの“给”に相当する。
- (8) (5)(6)の“给”を用いた文は木村 2005 より。
- (9) 木村 1987 では中国語の依頼表現では, 「相手に依頼する動作を短く少なめな形——言わば「軽減化」した形——で提示することで, こちらの控えめな要求の姿勢を示し, それによって, より円滑な依頼行為の遂行を促す働きを担っている」と述べ, この「行為の軽減化に活用される語彙的或いは文法的手段」の形式の中に「手伝う, 助ける」の意の動詞“帮”を入れて以下の例を挙げる。“请你帮我买一张票。”(キップを一枚買(うのを手伝)ってください)。この軽減化という視点もポライトネスに配慮したものであると考えられる。
- (10) この部分は田中 (2011) の訳を参考にした。

- (11) 《微时代》,《敢爱》,《我是杜拉拉》,《咱们相爱吧》,《繁星四月》,《我的前半生》。
- (12) この節で取り上げた“帮”は、英語の“May I help you?”の“help”の影響の可能性もある。ただ何れにせよ“帮”が“help”の影響を受けて、何故中国語表現の体系のあき間に入り込み用いられるのかについて、ボライトネスの視点から説明した。
- (13) 2007年3月、北京20代（19歳-22歳）50人（首都経貿大学学生・生来の北京人）。2007年3月-6月、北京50歳前後（45歳-50歳）50人、首都経貿大学学生の親・親戚及び知人、佳能信息技术（北京）有限公司に勤務する北京出身者の親・親戚及び知人の協力による。
- (14) 2018年3月
- (15) 筆者も2007年に上海の“星巴克”（スターバックス）にて“帮我拿杯抹茶的”（抹茶のを一杯下さい）と“帮”を用いて注文している客を見た。
- (16) 上海語で受益者を導く機能の語について、刘2003では“普通话里，受益主要由接受者介词兼动词“给”在动词前表示，如“我给他倒茶”，而北部吴语普遍不允许“给”义动词兼介词放在动词前，而是由伴随介词兼表受益”（普通话において受益は主に受領者を導く介詞兼動詞の“给”が動詞の前で表す。例えば（私は彼にお茶を注いだ）のように。北部呉語では全体的に“给”義の動詞が介詞を兼ねて動詞の前に置かれるのは許されておらず、随伴介詞が受益を表すのを兼ねる）と指摘する。
- (17) 永江2005の調査では、王朔の小説11作品（約62万字）の中で“帮”の後ろにアスペクト助詞を伴う例は2例でいずれも「ちょっと手助けする」（“李江云帮着新郎检查要还的东西有没有遗漏”）の意味で、「相手がすべき行為を全面的にする」という意味の場合、“帮”ではなく、共起する動詞の後ろにアスペクト助詞が付く（“我帮她看着牌。”）。“帮”と動詞に後続する動詞のアスペクト助詞を入れ換えた場合、文法的に不適格、または意味が異なる文になった。朱1982が指摘する介詞の基準（作为介词在句子里出现的时候就不能带“了，着，过”）に照らすと、実質的な意味を有する動詞というよりも、やや機能語化しつつあるのではないかと考える。
- (18) 北京語言大学 中国語コーパス  
BCC 语料库 <http://bcc.blcu.edu.cn/>（2020年6月22日参照）
- (19) 本稿では“帮”について文法化について書かれた論文を取り上げながら考察したが、ボライトネス・ストラテジーとして“帮”の用法に拡がりが見られ、“帮+人+～する（動詞）”という構文において、「人のためにちょっと助けて～する／人の代わりに助けて～する／人のために助けて～

する」という潜在義が浮き上がった（“浮現义”）という視点からも考察できる。

### 主要参考文献

#### 日本語

- 浜田麻里 1995「依頼表現の対照研究——中国語における命令依頼表現の方略」『日本語学』10 明治書院 pp. 69-75
- 木村英樹 1987「依頼表現の日中対照」『日本語学 10月号』VOL. 6 明治書院 pp. 58-66
- 木村英樹 2005「北京語授与動詞“给”の文法化」平成 13-16 年度科学研究費補助金（基盤研究 B(1)）『中国語普通話文法と方言文法の多様性と普遍性に関する類型論的・認知言語学的研究』
- 木村英樹 2012『中国語文法の意味とカタチ——「虚」的意味の形態化と構造化に関する研究』白帝社
- 林淑珠 1982「日本語と中国語の命令・依頼表現の比較——丁寧度の観点から——」『国語学研究 22』東北大学文学部国語学研究室内「国語学研究」刊行会 pp. 1-13
- 三木夏華 2002「北部呉語の授受構文にみられる介詞の史的変化」『中国語学』249 pp. 110-128
- 宮地裕 1965「敬語の解釈——主としていわゆる「謙讓語」とその周辺——」『ことばの研究第 2 集』国立国語研究所 pp. 187-204
- 中川正之 1991「“帮”はどこまで手伝うのですか？」『中国語学習 Q & A101』大修館書店 pp. 170-171
- 永江貴子 2005「祈使句における“帮”と“给”の選択について——台湾国語と普通話との比較から」『中国語学 252』日本中国語学会 pp. 196-209
- 大西智之 1988「中国語の要求表現」『徳山大学論叢』第 30 号 pp. 171-198
- 王志英 2005『命令・依頼の表現——日本語・中国語の対照研究——』勉誠出版
- 辻村敏樹 1956「現代の敬語意識」『国文学解釈と鑑賞 5月号』至文堂
- 辻村敏樹 1958「ことばの使い方——敬語——」『日本文法講座・5』明治書院
- 辻村敏樹 1963「敬語の分類について」
- （辻村 1956, 1958, 1963 はいずれも辻村敏樹 1967『現代の敬語』共文社に所収）
- 宇佐美まゆみ 2002 連載「ボライトネス理論の展開（1-12）」『月刊言語』31（1-13, 6 を除く）、大修館書店、2002：毎号 6 頁 総頁数 72 頁



## 中国語

- 刘丹青 2003< 语法化中的共性与个性—单向性与双向性—以北部吴语的同义多功能虚词“搭”和“帮”为例—>《语法化与语法研究（一）》商务印书馆 pp. 125-144
- 永江貴子 2018「祈使句中的“帮”和“给”的选择—从台湾华语和普通话的比较来看」『島津幸子教授 追悼論集 ことばとそのひろがり（6）』立命館大学法学会 pp. 461-478
- 袁毓林 1993《现代汉语祈使句》北京大学出版社
- 刑欣 2004《现代汉语兼语式》广播学院出版社
- 赵晶 2018〈浮现语法研究综述〉《现代语文 06 期》pp. 12-18
- 朱德熙 1982《语法讲义》商务印书馆

## 英語

- Brown, Penelope, Levinson C. Stephen 1978 Politeness Some universals in language Usage. Cambridge: Cambridge University Press（田中典子 監訳 2011『ボライトネス 言語使用における、ある普遍現象』研究社）
- Newman, John. 1993 The Semantics of Giving in Mandarin, in Richard A. Geiger (eds.), *Conceptualizations and Mental Processing in language*, Berlin; New York: Mouton de Gruyter, pp. 433-486
- Paul J. Hopper and Elizabeth Closs Traugott. 1993 *Grammaticalization*, Cambridge UP
- （日野資成訳 2003『文法化』九州大学出版会）

## 引用資料

### 引用コーパス

北京語言大学 中国語コーパス

《北语汉语语料库》(BCC) <http://bcc.blcu.edu.cn/>

### 口語資料（中国のテレビドラマ）

《微时代》（2014 年 7 月 21 日初回放送）、《敢爱》（2015 年 3 月 12 日初回放送）、《我是杜拉拉》（2016 年 4 月 16 日初回放送）、《咱们相爱吧》（2016 年 11 月 7 日初回放送）、《繁星四月》（2017 年 4 月 18 日初回放送）、《我的前半生》（2017 年 7 月 4 日初回放送）